

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あすなるHOP		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日	～	令和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)
			14
○従業者評価実施期間	令和8年4月1日	～	令和8年4月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
			5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して過ごせる環境づくりができています。	児童の興味関心や発達状況を把握し、個別支援計画に基づいた支援を実施している。また、学習支援やSST活動を通して社会性の向上を図っている。	支援内容の共有や職員研修を継続し、支援の質の向上を図る。
2	保護者との連携や相談支援体制が整っている。	HUGや送迎時の申し送り、面談等を通して児童の様子や支援内容を共有している。	保護者との情報共有を継続し、家庭と事業所が連携した支援体制の強化を図る。
3	安全管理や環境整備に配慮した事業運営ができています。	定期的な環境点検や避難訓練を実施し、安全な環境づくりに努めている。	防災や安全管理に関する周知を強化し、保護者への情報発信を充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や地域との関わりについて保護者へ十分に伝わっていない。	活動は実施しているものの、周知不足により保護者が把握しづらい状況がある。	通信やSNS等を活用し、活動内容や地域交流の様子を発信する。
2	保護者同士の交流機会が少ない。	個別相談は実施しているが、保護者同士が交流する場が少ない。	保護者講演会や交流会等の開催を検討する。
3	防災訓練や各種マニュアルの周知が十分ではない。	実施はしているが、保護者への発信機会が限られている。	避難訓練や安全管理体制について定期的に周知する。